



エコ・ファーストの約束

～環境企業としての地球環境保全の取組～

平成23年4月21日

環境大臣 松本 龍 殿

株式会社一条工務店 代表取締役社長 宮地 剛

株式会社一条工務店は、人と環境に優しい家づくりに取組み、省エネルギー住宅の研究開発・普及促進をはじめとする事業活動のすべての領域において、持続可能な社会の実現に向けて努力することを宣言し、以下の取組みを進めて参ります。

1. 低炭素化社会の構築に貢献します。

- ① 株式会社一条工務店は、2011年度～2014年度の中長期計画において、2014年度までにエネルギー使用量の10%削減(2009年度比)の数値目標を掲げ、2012年度には6%削減(2009年度比)します。その削減計画の継続実施に合わせて、2020年度までに全事業所建物の90%について、太陽光発電パネルの敷設を実施すること等により、原油換算値でエネルギー使用総量を3000kL以下とし、二酸化炭素排出量を2009年度比で25%以上削減することを約束します。
- ② 株式会社一条工務店は、民生エネルギー分野の省力化を目指して「住宅の性能」に着目した技術開発・製品化及びその普及促進を環境活動の軸とした活動に取組みます。2011年度から2020年度の毎事業年度における太陽光発電パネル搭載の一条高性能創エネ住宅の供給について、原則として当社年間住宅供給棟数の100%とするよう努め、これを2015年までにゼロエミッションハウスとして標準的な新築住宅モデルとすることで、二酸化炭素排出量の削減に貢献することを約束します。
- ③ 株式会社一条工務店は、一条高性能創エネ住宅について、ライフサイクルにおける二酸化炭素排出量少ない木造住宅の特性を活かし、先導的なライフ・サイクル・カーボン・マイナス住宅^{*}とすべく検証を実施すると共に、2020年度までにその太陽光発電パネルの平均搭載容量8kWへの拡大を目指すことを約束します。

※ライフ・サイクル・カーボン・マイナス住宅/住宅の長い寿命の中で、建設時、使用時、廃棄時における省CO₂への取組みに加え、太陽光発電など新エネルギーを適用することで、住宅建設時等のCO₂排出量も含めた住宅の生涯を通じたCO₂の取支をマイナスにする住宅をいう。

2. 地球温暖化対策と共に生物多様性への対応に努めます。

株式会社一条工務店は、国産材の有効利用に努め、一棟あたりの使用量を高水準なもの(平均15㎡)として堅持することで、日本の森林が十分に二酸化炭素を吸収できるように木を計画的に伐採し、新しい木を育てるという森林サイクルの担い手の一人として取組みます。さらに、その木材が合法木材供給事業者認定を受けた木材事業者による合法木材であることを確認することで、地球環境温暖化対策としての森林吸収源対策活動とあわせて、生物多様性への配慮を十分に行うことを約束します。

3. 循環型社会への積極的な関わりを継続します。

新築現場における3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進を図り、廃棄物の削減に努めるとともに、2015年までに新築現場のマテリアルリサイクル率を90%以上にします。

4. 環境コミュニケーションを推進します。

ステークホルダーに、工場見学、住宅技術セミナー、太陽光発電システム搭載の展示建物の公開を通じて、地球温暖化防止活動と木造住宅の存在意義について説明し、理解を深めて頂く活動を実施し、広く、人と住まいと環境との関わり大切さを伝えます。

一条工務店は、これらの約束の進捗を確認し、その結果を環境省に報告すると共に、サステナビリティ・レポート(CSR)を通じて、ステークホルダーへの報告を実施します。

家は、性能。

一条工務店